

この調査シリーズは、労働政策研究・研修機構（JILPT）が研究業務の一環として平成 18 年（2006 年）10 月に実施した「『団塊の世代』の就業と生活のビジョンに関する調査」の結果の概要を紹介することを目的としている。第 I 部では当該調査の概要を説明する。次いで第 II 部では、調査結果データを、「団塊の世代」をめぐる主要なトピックス別に整理し紹介する。この調査シリーズでは調査結果データの紹介に重点を置いており、データの解析ないし分析については抑制的に取り扱っている。さらに、巻末には基礎集計に係る結果統計表を掲出している。

なお、この調査を行うに当たっては、研究会を組織し、調査票の設計について検討を加えるとともに、結果データに基づく分析をそれぞれ分担して行うこととした¹。

第 I 部 調査の概要

第 1 章 調査の目的と対象、調査方法

1-1 調査の目的

いわゆる「団塊の世代」²の先頭集団（昭和 22 年生まれ）が本年（平成 19 年／2007 年）には 60 歳台入りをし、いよいよこの世代のいわゆる高齢・引退過程入りが始まる。このことを背景に今後のわが国経済社会の行方をめぐって種々の議論が交わされている。楽観、悲観、あるいは中立いずれをとるにせよ、その動向は「団塊の世代」の人々の考えや生活設計に大きく依存することは間違いのないところである。

このため、これらのことを明らかにするために基礎となるデータを広く提供するとともに、適宜の分析を通して「団塊の世代」の今後における高齢期の就業や生活の方向性に関する一つの試論を提供し、政策担当者を始めとして関係者における議論の活性化を図ることを目的として、前年に当たる平成 18 年（2006 年）において、「団塊の世代」を対象に今後の引退過程における就業をはじめとする生活設計や見通しなどについて調査を行うこととした。

こうした調査は、スタートラインに立つこの時点で行わなければならないものであり、その結果は今後「団塊の世代」がたどることとなる高齢期における職業生活からの引退過程に関する一つのベンチマークを提供することにもなると考えられる。この調査は、「団塊の世代」の人々やその妻の希望や見通しを調査したものである。もとよりそれらがすべて現実の

¹ 研究会は、清家篤（慶應義塾大学教授）、佐藤厚（同志社大学教授）、南雲智映（早稲田大学助手）、浅尾裕（JILPT 主席統括研究員）、小倉一哉（JILPT 副主任研究員）、藤本隆史（JILPT アシスタントフェロー）及び馬欣欣（慶應義塾大学/JILPT 臨時研究協力員）の 7 名で構成した。また、研究会メンバーによる調査結果データに基づく分析については、別途報告書にとりまとめ近々公表する予定である。

² 「団塊の世代」とは、戦後間もない昭和 22 年から 24 年までの間に出生した、前後の年代に比べて突出して多い数の人口集団（700 万人程度）のことであり、周知のように堺屋太一氏が同名の小説で命名したものとされている。なお、今回の調査では、後述のように対象をやや拡大して昭和 22 年から 26 年までのいわゆる広義の「団塊の世代」を対象としている。

ものになるわけではないが、人々の努力と政策的な環境整備とによって可能な限り実現されることが望ましいものと考えるところならば、そうした取組に関する一つの評価軸を提供するものといえる。

1-2 調査対象者

(対象者総数の設定)

調査の対象者は、まず次のように設定することとした。

- ①就業している広義の「団塊の世代」(昭和 22 年～26 年生まれ)の男女 3,000 人
- ②就業している広義の「団塊の世代」の男性を配偶者に持つ女性 2,000 人

ただし、②の調査対象者は、①の調査対象者自身の配偶者ではない者とする。

全国を対象とした調査においては、おおむね 3,000 件のデータがあればまあまあ満足できる分析が可能となるとの経験則に基づき「団塊の世代」本人(昭和 22 年～26 年生まれの人をいう。以下同じ。)に対する調査の対象者数を 3,000 人に設定した。また、その 3,000 人(就業者)のうち男性の占める割合はほぼ 6 割であると考えられるところから、上記②の「団塊の世代」の妻に対する調査の対象者数はキリのよいところで 2,000 人とする事とした。

あるグループとその配偶者を調査対象とする場合においては、同一世帯の夫婦を対象に調査することも考えられるが、今回はそうした方法は採らずに、上記①と②とは異なる世帯に属する人を対象とすることとした。それは、同一世帯の夫婦調査においては相互に話し合いや何らかの情報交換等が行われる可能性が否定できないこととともに、今回の調査はあくまで総体としての「団塊の世代」本人と総体としてのその妻たちの高齢期における就業・生活の見通しや意向の把握をめざしたものであり、個々の世帯(家庭)における夫婦間の意見の相違等に関心があるわけではないことによるものである³。

(調査対象者選定の方法)

調査対象者選定(サンプリング)の方法は、次のように行うこととした。

- ①総務省統計局「就業構造基本調査」(平成 14 年)より求めた、55～59 歳層の男女別、従業上の地位・雇用形態別、学歴別構成比を本人調査対象数(3,000 人)に乗じて、属性別本人調査対象数を得る。
- ②①で求めた男性本人の構成比を配偶者調査対象数(2,000 人)に乗じて、夫の属性別配偶者(妻)調査対象数を得る。

高齢期における就業・生活の見通しや希望については、様々な要因により異なってくる事が考えられるが、とりわけ現在における就業状況や学歴により異なるのではないかと想定される。したがって、サンプリングに当たっては可能な限りこうした要因の構成を全体のそ

³ とはいえ、総体としての「団塊の世代」の男性本人と総体としての「団塊の世代」の男性の妻たちの意向に一定の相違があるとすれば、それは個々の世帯(家庭)においてそうした相違があるところが少なくないことを示すことは当然である。

れに合わせておくべきものと考えたところである。

その際、基となる構成をどの資料をベースにするかを検討する必要がある。就業状態と学歴（及び性別）と双方を加味したデータについては、総務省統計局「就業構造基本調査」を用いることとするとしても、調査時点で最新のものは平成 14 年であった。同年においては「団塊の世代」はほぼ「50～54 歳層」に属していた。そこで「50～54 歳層」における就業状態・学歴別構成比を用いることも考えられたが、一方、50 歳台前半から同後半にかけての時期は、就業状態（従業上の地位や雇用・就業形態）がかなり大きく変化する時期であり、また折からの多様化の進展の中にあつて「50～54 歳層」の構成を用いることは問題が多いと考えなくてはならない。そこで、今回は「50～54 歳層」ではなく「55～59 歳層」の構成をベースによりサンプリングを行うことをめざすこととした⁴。

また、「団塊の世代」の妻調査においても、今回の調査目的に応じて、妻自身ではなく夫の就業状態・学歴別構成によりサンプリングを行うことをめざした。

1-3 調査の方法

調査は、基本的な項目ではあるけれどもかなり詳細な事項について尋ねるものとなることから、少なくとも郵送の質問紙調査により行うこととするはもとより、上記のことから、次のような条件を満たすものでなければならなかった。

- ① せっかくサンプリングについて工夫したとしても、各属性別にみて実際の回答率にかなりの違いがあれば元の木阿弥であるので、相当高い回収率を想定できること
- ② サンプリングに必要な属性が把握されていること。すなわち、性、学歴、就業状態に関する属性情報、しかも女性については自身ではなく夫のそれが的確に把握されていること
- ③ 1 年間の研究期間に対応するため、調査の実施が比較的短期間で行われること

以上の条件を満たすためには、あらかじめ適切に属性管理がなされており、かつ、特定の目的に限られていない郵送モニターを大規模に保有している調査機関に調査業務を委託することがもっとも効率的な方法であると考えられた⁵。このため、上記で求めた調査票配布数内訳をベースにして、当該調査業務委託先機関におけるモニター属性把握状況に応じて、可能な限りでこれに応じたサンプリングを行ったうえで、郵送による質問紙調査を行った。その際、調査票の発送、回収及び個票データ作成は当該調査機関において行われたことから、JILPT には回答者に関する個人情報（個人を特定できる情報）は一切入手することなく実施することができた。調査は、平成 18 年（2006 年）10 月に行われた。

⁴ 「就業構造基本調査」は平成 19 年に実施される予定であり、今回の措置の相対的な確信はその結果が出された段階で最終的に評価されるであろう。

⁵ こうした条件を踏まえた仕様書を提示したうえで競争入札方式により業者選定を行った結果、調査業務委託先機関には（株）インテージが選定された。

1-4 サンプル及び回答状況

以上のような考え方に沿って算出した設計上の抽出数、調査機関の保有するモニターの制約からやむなく適宜調整を加えた結果、今回実際に調査票を配布したサンプルの状況、その結果得られた有効回答の状況は、以下の表のとおりとなった。

設計上のサンプルと実際のそれとの違いは、モニターにおいて特に中卒の人が少なく設計上の数を確保できなかったこと、妻調査において夫の就業状態は把握されていたものの学歴

(参考)「団塊の世代」調査対象者・回答者数の状況

1. 設計(就調のウェイトに基づく抽出数)

(1)本人票・男性

	中卒	高卒	短大・高専	大学・院卒	計
計	509	812	70	400	1791
自営業主	117	133	12	43	305
家族従業者	2	3	0	1	6
雇用者計	390	676	58	356	1480
会社などの役員	33	94	11	94	232
正規従業員	297	518	42	245	1102
パート・アルバイト	25	23	2	5	55
派遣・契約社員	18	33	2	10	63
その他	17	8	1	2	28

(2)本人票・女性

	中卒	高卒	短大・高専	大学・院卒	計
計	389	642	120	58	1209
自営業主	39	56	11	7	113
家族従業者	62	89	12	4	167
雇用者計	288	497	97	47	929
会社などの役員	12	39	13	7	71
正規従業員	102	200	43	25	370
パート・アルバイト	161	225	33	10	429
派遣・契約社員	9	26	5	2	42
その他	4	7	3	3	17

(3)配偶者(妻)票

夫の職業・学歴	中卒	高卒	短大・高専	大学・院卒	計
計	568	907	78	447	2000
自営業主	128	147	13	48	336
家族従業者	4	4	0	2	10
雇用者計	436	756	65	397	1654
会社などの役員	37	104	13	106	260
正規従業員	330	577	47	273	1227
パート・アルバイト	30	29	2	5	66
派遣・契約社員	20	37	2	11	70
その他	19	9	1	2	31

2. 実際の調査対象数(モニターの制約から)

	中卒	高卒	短大・高専卒	大学・院卒	計
計	118	710	174	789	1791
自営業	19	117	40	129	305
家族従業者	0	3	0	3	6
雇用者計	99	590	134	657	1480
会社などの役員	6	99	33	94	232
正規従業員	79	412	81	530	1102
パート・アルバイト	8	32	9	6	55
派遣・契約社員	2	40	8	13	63
その他	4	7	3	14	28

	中卒	高卒	短大・高専卒	大学・院卒	計
計	198	827	126	58	1209
自営業	27	68	11	7	113
家族従業者	8	143	12	4	167
雇用者計	163	616	103	47	929
会社などの役員	4	41	19	7	71
正規従業員	28	274	43	25	370
パート・アルバイト	122	264	33	10	429
派遣・契約社員	5	30	5	2	42
その他	4	7	3	3	17

3. 有効回答者数

(1)本人票・男性

	中卒	高卒+各種学校	短大・高専卒	大学・院卒	無回答	計
計	90	695	74	764	107	1648
自営業主	19	116	11	130	28	304
家族従業者	0	12	2	7	2	23
雇用者計	63	438	52	581	74	1208
会社などの役員	3	38	3	108	12	164
正規従業員	46	301	43	397	49	836
パート・アルバイト	6	26	3	8	6	49
派遣・契約社員	5	50	3	42	5	105
その他・形態無回答	3	23	0	26	2	54
無業	2	21	3	17	1	44
無回答	6	26	6	29	2	68

(2)本人票・女性

	中卒	高卒+各種学校	短大・高専卒	大学・院卒	無回答	計
計	145	695	59	51	124	1074
自営業主	5	32	7	6	5	55
家族従業者	10	121	5	6	14	156
雇用者計	105	430	35	29	73	672
会社などの役員	3	11	3	3	1	21
正規従業員	20	163	7	14	32	236
パート・アルバイト	67	198	14	8	32	319
派遣・契約社員	10	44	8	4	5	71
その他・形態無回答	5	14	3	0	3	25
無業	21	54	3	9	14	101
無回答	4	58	9	1	18	90

(3)配偶者(妻)票

夫の職業・学歴	中卒	高卒+各種学校	短大・高専卒	大学・院卒	無回答	計
計	165	808	61	699	49	1782
自営業主	41	157	17	132	8	355
家族従業者	7	17	1	14	1	40
雇用者計	106	595	41	526	34	1302
会社などの役員	2	47	3	89	2	143
正規従業員	78	437	33	364	29	941
出向社員	2	14	2	10	0	28
契約・嘱託社員	11	73	2	48	1	137
その他・形態無回答	13	24	1	15	2	53
無業	4	22	1	14	1	42
無回答	7	17	1	13	5	43

は把握されていなかったため、自身（妻）の学歴を用いたこと等の要因によるものである⁶。これらのことは今回の調査における制約下でやむを得ないものと考えられるが、一方、中卒などの割合が相対的に低く、大卒の割合が相対的に高い調査と結果的になったことには留意する必要がある⁷。

結果として、総じてみた回答状況は次のように整理できる。

	調査対象者数	有効回答者数	回収率
①「団塊の世代」本人	3,000 人	2,722 人	90.7%
うち男性	1,791 人	1,648 人	92.0%
うち女性	1,209 人	1,074 人	88.8%
②「団塊の世代」の妻	2,000 人	1,782 人	89.1%

なお、「団塊の世代」の本人を対象とした調査は就業中の人を対象としたが、この年代における就業状態の変化が大きいこともあって、モニター属性把握時（直近1年以内に行われている。）には就業していた人々も調査時点では無業となっている場合も少なからずあるものと考えられたため、結果的に無業である人（＝近い過去に失職した人）も対象とする調査にしている⁸。

第 2 章 調査内容とそのねらい

2-1 調査票の構造

調査は、「団塊の世代」本人を対象とした調査票及び「団塊の世代」の男性の妻を対象とした調査票の2種の調査票を使って行った（以下、前者の調査を「本人調査」、後者の調査を「妻調査」という。）⁹。

調査項目の設定に当たっては、次のような視点を整理したうえで行った。「団塊の世代」の今後における高齢期の就業と生活とに関して、奇をてらうことなく、基礎的なデータを得るという今回の調査の目的に添って、調査項目の多くは基本的・基礎的なものとなっている。

まず、本人調査については、

- ①「団塊の世代」の就業者の人々は、職業的観点からどのような家に生まれ、どのような学歴を獲得し、どのような職業経歴をたどってきたのか。
- ②現在どのような仕事に従事し、自己の職業能力についてどのように考え、また、その仕事に関する技能等は次の世代に引き継がれているのかどうか。

⁶ 妻調査について自身（妻）の学歴を用いて抽出したため、表において結果としての夫の学歴では配布数よりも多くの回答があったようにみえるセル（例：中卒や大・院卒）がある。

⁷ ただし、上記のような工夫をすることなく実施した場合に比べれば、中卒等のデータが相対的に多く取ることができたと考えている。

⁸ 調査対象3,000人のうち145人、4.8%が調査時現在無業となっている。

⁹ 調査票は、第 I 部の末尾に掲載しているので参照されたい。

③今後どのような就業を見通し、希望しているのか。これは、現在の職場での就業継続の面とより長期の面とがある。

④高齢期における生活に関して、どのような準備をし、また、どのような見通しをもっているのか。

などの視点を中心に調査項目を設定した。その際、平成 18 年 4 月から施行されえた改正高年齢者雇用安定法による 65 歳までの就業継続措置の認知度やその影響に関する設問もわずかながら用意した。

一方、高齢期の就業や生活は、一般的には職業生活からの引退期の性格を持っており、職場から家庭（ないし地域）への回帰が行われる時期である。そこでは、家庭（の状況）が大きな役割を果たし、影響を及ぼすこととなるものと考えられる。このため、妻調査を併せて実施し、家庭における一方の主人公である妻に登場願ひ、次のような視点からの調査項目を設定した。

①妻たちは、これまでの生活をどのように考えているのか。

②妻たちは、今後の高齢期において夫に対してどのような就業を期待しているのか。

③妻たち自身の高齢期における就業をどのように考えているのか。

④高齢期における生活に関して、妻たちの側ではどのような見通しを持っているのか。

以上のような視点から設定した調査項目を調査票の構造（構成）として示せば、次ページの参考図のように整理できる。

2-2 特徴的な調査項目のねらい

以下において、今回の調査における調査項目のうちいくつかの特徴的なものを取り上げ、そのねらいを簡単に紹介しておきたい。

①「ふるさと」について（本人調査：問 6 / 妻調査：問 12）

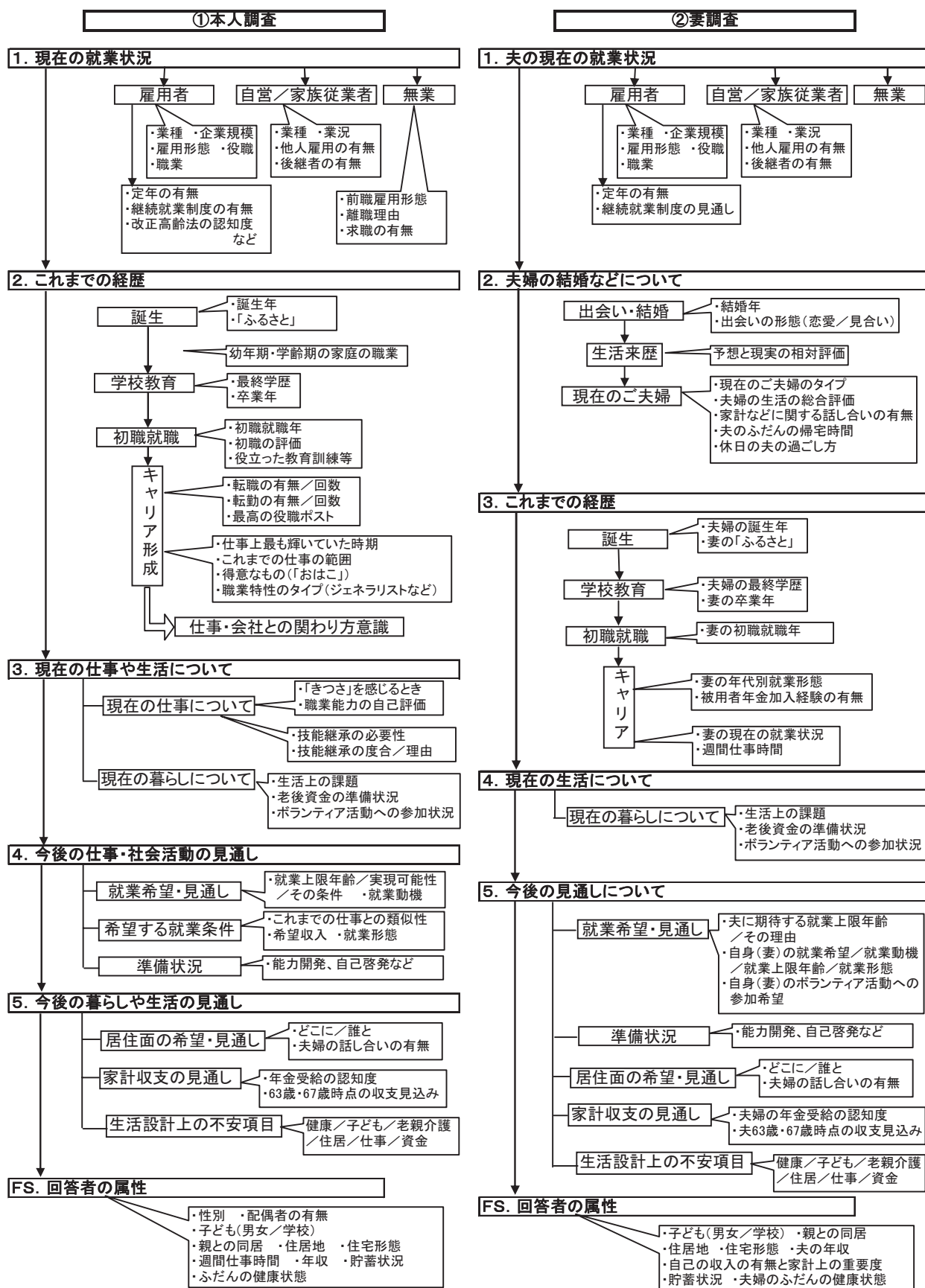
（本人調査）問 6 突然ですが、あなたが「ふるさと」と感じておられるところのある都道府県名を教えてください。（都道府県名）

付問 6-1 それはどのようなところですか。（〇はいくつでも）

1. 生まれたところ
2. 卒業した中学校があるところ
3. 卒業した高等学校があるところ
4. 両親や親族が住んでいるところ
5. これまで住んだ中でもっとも気に入っているところ
6. その他

この設問は、職業経歴の中で出身地を離れたいわゆる広域移動を経験したのかどうかをみるとともに、高齢期以降の希望居住地に関連していわゆる U ターンの動向をみようとするために設定した問である。さらには、従来卒業した中学校や高等学校のある地域を出身地とみなした分析が行われてきているが、本来「ふるさと」は人それぞれにより感じるものが違うのではないかと考えられるので、実際にどのようなところを人々は「ふるさと」と感じているのかを把握することもねらいとしたものである。

(参考図) 「『団塊の世代』の就業と生活のビジョンに関する調査」調査票の構造(構成)



②幼年期・学齢期の家庭の職業について（本人調査：問 7）

（本人調査）問 7 あなたが幼年期や学齢期にあったときのお宅は、次のどれにもっともよくあてはまりますか。（○は一つ）

1. 会社、工場、役所などに勤めるサラリーマンの家庭
2. 会社の社長や重役の家庭
3. 農林水産業を営む家庭
4. 自営の商店や工場を営む自営業の家庭
5. 弁護士・会計士・税理士・医者などの専門的な自由業の家庭
6. その他

「団塊の世代」の人々が就業を開始した時期はいわゆる高度成長期に当たるが、この時期はまた、第一次産業から第二次産業・第三次産業へと就業構造が大きく変化した時期でもある。こうした親世代との職業上の変化が様々な影響を及ぼしていることが考えられる。とりわけ高齢期における就業行動に強い影響を与えるのではないかとこの想定の下で、設定した問である。

③キャリアの中で培われた「おはこ」（十八番）について（本人調査：問 10-6）

（本人調査）問 10-6 これまでのキャリアの中でご自身の「得意なもの」や「おはこ」と呼べるものはありますか（○は一つ）

1. ある
2. とくにない
3. なんともいえない

付問 10-6-1 どのようなものですか。具体的に書いてください。

高齢期の就業といえども人々がキャリアの中で培った「得意なもの」と考える技能（特技）を前提として希望や見通しが形成されると考えられる。こうした「おはこ」があると自認する人とそうでない人とでは、高齢期の就業希望・見通しにどのような違いがあるのか、さらには「おはこ」の内容によっても影響は異なるのか、といった点をみることをねらいとして設定した問である。

また、この設問は、どのような経歴をたどればそうした「おはこ」が形成されやすくなるのかをみることに活用することも考えられる。

④夫婦のタイプ（妻調査：問 6）

（妻調査）問 6 次の文章は、夫婦について一般によくいわれる記述ですが、現在のあなたご夫婦についてもっともあてはまるのはどれですか。（○は一つ）

1. 何につけ一緒に行動（活動）をともにすることが多い「おしどり夫婦」
2. 趣味や余暇活動をともにすることが多い「仲良し夫婦」
3. ご夫婦別々の趣味や余暇活動を楽しむ「独立独歩夫婦」
4. 苦難の多い人生を共に歩んできた「戦友夫婦」
5. お互いの存在を普段意識しない「空気のような存在夫婦」
6. 関係は冷え切っている「仮面夫婦」
7. なんともいえない

上述のように高齢期の就業や生活は、一般的には職業生活からの引退期の性格を持っており、職場から家庭（ないし地域）への回帰が行われる時期であるとして、妻調査においては夫が回帰すべき家庭にその準備や環境が整っているかどうかをみることをねらいとした問をいくつか設定しており、これもその一つである。この設問に対する回答だけでこれを判断することは必ずしも適当とはいえないが、夫婦間の話し合いの状況（問 9）や妻による夫婦の生活に対する評価（問 7 や問 8）、夫のふだんの帰宅時間や休日の行動（問 10）などの設問に対する回答を通じて何らかの判断ができるのではないかとのねらいを持つものである。

ただし、ここで紹介したねらいについては、この調査シリーズにおいては、十分な配慮を払った分析は必ずしもできていないことを付言しておく。

(付) 『団塊の世代』の就業と生活のビジョンに関する調査」調査票

1. 「団塊の世代」本人を対象とした調査（本人調査）
2. 「団塊の世代」の妻を対象とした調査（妻調査）

1. 「団塊の世代」本人を対象とした調査（本人調査）票



「団塊の世代」の就業と生活のビジョンに関する調査

< K2538¥¥¥ >

2006年10月

拝啓 秋晴れの候、皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は、私ども（株）インテージの調査にご協力くださいます。誠にありがとうございます。皆さまのご意見は、貴重な資料として活用させていただいております。

さてこの度、独立行政法人労働政策研究・研修機構（JILPT）より委託を受け、「団塊の世代」の就業と生活のビジョンに関する調査を行うことになりました。いわゆる「団塊の世代」が60代を迎えようとしています。700万人ともいわれるこの世代の人々がどのような60代を送られるかは、わが国の経済社会のあり方にも大きな影響を与えることとなります。JILPTでは、そうした実態を把握・分析するとともに、その政策課題を探る研究プロジェクトを進めており、この調査はその重要な一環として、昭和22～26年生まれの方を対象に行うものです。

モニターの皆様にご記入頂いた内容については、すべて数値化された後、統計的に処理されます。また研究以外の目的には使用されませんので、プライバシーを侵害するようなことはありません。つきましては是非ともご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

調査に関して不明な点などございましたら遠慮なくご連絡ください。ご多忙中恐縮ですが、同封の封筒（切手不要）により、10月16日（月曜日）までにご投函くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、些少ではございますがお礼といたしまして図書カードを同封させていただきましたので、ご笑納ください。末筆ながら、ご家族の皆さまのご健康をお祈り申し上げます。

敬具

ご記入上の注意 ～今回は宛名の方ご本人様にご記入ください

1. 特に指定のない限り、回答は選択肢の番号に○印をつけてください。 には具体的な数字を記入してください。
2. 選択肢で「その他」に○をつける場合、なるべく具体的な事柄を記入してください。
3. ご記入いただきました調査票は、お手数でもご記入もれなどないかお確かめの上、同封の返送用封筒（切手は不要です）にて10月16日（月）までにご投函ください。

<調査票の内容、記入方法に関する問い合わせ>

株式会社インテージ メールセンター 〒203-8686 東京都東久留米市本町1-4-1
TEL: 0120-483-433 (フリーダイヤル: 平日 9:00～17:00) 担当: 木野村

<調査の趣旨に関する問い合わせ>

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23 独立行政法人 労働政策研究・研修機構
担当: 労働条件・就業環境研究担当 浅尾

(TEL: 03-5991-5171, Email: , URL: <http://www.jil.go.jp>)

<独立行政法人労働政策研究・研修機構とは・・・>

「独立行政法人労働政策研究・研修機構法」（平成14年法律第169号）に基づき設立された厚生労働省所管の公的な法人で、労働政策の企画立案に資する調査研究業務などを行っています。調査研究の結果は、労働政策研究報告書などの形でとりまとめ、厚生労働省における労働政策の企画や労働行政推進の基礎資料として活用されるとともに、労働関係の政策論議の活性化に向けて、関係者を始め広く提供しています。

詳細は、JILPT ホームページ (<http://www.jil.go.jp>) をご覧ください。

ご記入いただいた方のお名前は…

お名前		様
変更後ご住所	〒 (ご住所は、お送りした宛て名ラベルから <u>変更のある方のみ</u> ご記入ください) TEL ()	

1. 現在のお仕事についてお伺いします。

問1 現在どのような形でお仕事をされていますか。(○は一つ)

- | | | |
|---|---|---------|
| 1. 会社や官庁などに雇われている(雇用者である。)
(従業員や職員だけではなく会社の役員を含みます。) | → | 引き続き問2へ |
| 2. 自分で事業を営んでいる(自営業主である) | → | 4ページ問3へ |
| 3. 家族や親族が自営する事業で働いている(家族従業者である) | → | 5ページ問4へ |
| 4. 仕事はしていない | → | |

(問1で「1」と回答された方(雇用者)のみお答えください。)

問2 現在の会社やお仕事についてお答えください。

(注: 出向中の方は、現在実際に勤務されている会社等についてお答えください。)

問2-1 業種は、どれですか。(○は一つ)

- | | | |
|-----------------|-------------------------|----------------------|
| 1. 農林水産業 | 9. 小売業 | 17. 個人向けのサービス業 |
| 2. 鉱業 | 10. 金融・保険業 | 18. 病院、学校その他公共のサービス業 |
| 3. 建設業 | 11. 不動産業 | 19. 国・県・市町村の公務 |
| 4. 製造業 | 12. 飲食店 | 20. その他 |
| 5. 電気・ガスなどの公益産業 | 13. 旅館・ホテル | () |
| 6. 運輸業 | 14. 労働者派遣事業 | 21. わからない |
| 7. 通信業 | 15. 業務請負事業 | |
| 8. 卸売業 | 16. 14、15以外の事業所向けのサービス業 | |

付問2-1-1 主に何を製造している会社ですか。(○は一つ)

- | | | |
|-------------------------|-----------------|--------------------|
| 1. 食料品 | 6. ガラス・セメント関係 | 13. 船舶・航空機その他の輸送機器 |
| 2. 繊維製品 | 7. 皮革製品 | 14. 精密機器関係 |
| 3. 木材や紙関係 | 8. 鉄鋼、非鉄、金属関係 | 15. その他 |
| 4. 化学製品やプラスチック、ゴム関係の製造業 | 9. 産業用機器 | () |
| 5. 出版や印刷関係 | 10. 民生用機器 | 16. わからない |
| | 11. コンピュータ・通信機器 | |
| | 12. 自動車関係 | |

問2-2 企業の規模は、どれくらいですか。(○は一つ)

- | | | | |
|-----------|-----------|-------------|-----------------|
| 1. 1~9人 | 3. 30~49人 | 5. 100~299人 | 7. 1,000~4,999人 |
| 2. 10~29人 | 4. 50~99人 | 6. 300~999人 | 8. 5,000人以上 |

問2-3 企業の形態は、いずれにあてはまりますか。(○は一つ)

- | | |
|-------------|-------------------------|
| 1. 株式会社 | 6. NPO法人、社会福祉法人などの非営利法人 |
| 2. 有限会社 | 7. 公営企業(独立行政法人などを含む。) |
| 3. 合名又は合資会社 | 8. 官公庁 |
| 4. 協同組合など | 9. その他 |
| 5. 個人企業 | () |

問2-4 現在の会社等に入社されたのは、いつですか。年号又は西暦のお答えになりやすい方でお答えください。なお、お答えになった年号や西暦に○をつけてください。(注: 出向中の方は、出向元の会社等に入社された年をお答えください。)

(昭和 ・ 平成 ・ 西暦) 年

問2-5 雇用形態は、いずれにあてはまりますか。(○は一つ)

- | | | |
|---------|------------|-----------------|
| 1. 正社員 | 4. 嘱託社員 | 7. 労働者派遣事業の派遣社員 |
| 2. 出向社員 | 5. パートタイマー | 8. 7以外の派遣社員 |
| 3. 契約社員 | 6. アルバイト | 9. その他() |

付問2-5-1 出向元へ復帰の見通しはいかがですか。(○は一つ)

- | | | |
|---------|----------|----------|
| 1. 復帰する | 2. 復帰しない | 3. わからない |
|---------|----------|----------|

問 2-6 現在の役職は、いずれにあてはまりますか。(○は一つ)

(注：非正規の方も役職に就いている場合は適宜選択し、とくに役職はない場合は「1. 一般社員クラス」に○を付けてください。)

- | | | |
|-------------|----------|----------------------|
| 1. 一般社員クラス | 4. 課長クラス | 6. 役員クラス (部門の管理職を兼務) |
| 2. 職長・班長クラス | 5. 部長クラス | 7. 6以外の役員クラス |
| 3. 係長クラス | | |

問 2-7 現在のお仕事は、いずれにあてはまりますか。(もっとも近いものに一つだけ○)

- | | | |
|---------------|-------------|----------------|
| 1. 専門的・技術的な仕事 | 5. サービスの仕事 | 8. 技能工・生産工程の仕事 |
| 2. 管理的な仕事 | 6. 保安の仕事 | 9. 労務作業等の仕事 |
| 3. 事務の仕事 | (警備、守衛など) | 10. その他 |
| 4. 販売の仕事 | 7. 運輸・通信の仕事 | () |

問 2-8 あなたに適用される定年がありますか。(○は一つ)

(現在出向中の方は、適用されることになっているものについてお答えください。)

- | |
|----------|
| 1. 定年はない |
| 2. 定年がある |

付問 2-8-A1

雇用される期間に何らかの上限が決まっていますか。(○は一つ)

- | |
|----------------|
| 1. とくに決まっていない |
| 2. 雇用期間が決まっている |
| 3. わからない |

付問 2-8-B1 定年年齢は何歳ですか。

--

付問 2-8-B2 定年のときに退職金(一時金)は支給されますか。(○は一つ)

- | |
|-----------|
| 1. 支給される |
| 2. 支給されない |

付問 2-8-B2-1

現在の年収の何年分くらいですか

--

付問 2-8-B3 定年以降も仕事が続けられる制度がありますか。(○は一つ)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 希望すればほぼ全員仕事が続けられる制度がある |
| 2. 一定の基準に該当すれば仕事が続けられる制度がある |
| 3. 会社の方から望まれた場合に仕事が続けられる制度がある |
| 4. とくにそうした制度はない |
| 5. わからない |

付問 2-8-B3-1

その制度が導入されたのはいつでしたか。

(○は一つ)

- | |
|-----------|
| 1. ここ1年の間 |
| 2. 2~3年の間 |
| 3. それ以前から |
| 4. わからない |

問 2-9 今年の4月から60代前半までの雇用延長が義務化されました。あなたはそのことを知っていますか。(○は一つ)

- | |
|----------|
| 1. 知っている |
| 2. 知らない |

付問 2-9-1 この義務化により定年前に事前にあなたの雇用の可能性がわかるようになります。そのことで、あなたの60代前半期の働き方のビジョンに何か変化はありますか。(○は一つ)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 変化はない | 2. 変化はある | 3. わからない |
|----------|----------|----------|

問 2-10 あなたは現在労働組合に加入していますか。(○は一つ)

- | |
|------------|
| 1. 加入している |
| 2. 加入していない |

付問 2-10-1 どのような組合に加入していますか。(○は一つ)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 職場の労働組合 | 2. 個人加盟の労働組合 |
|------------|--------------|

付問 2-10-2 加入していない最大の理由は何ですか。(○は一つ)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 職場に組合がないから |
| 2. 管理職など加入できない役職にあるから |
| 3. パートタイマーなど非正規なので加入できないから |
| 4. 加入するメリットを感じないから |
| 5. 組合費や組合活動の面倒さなどデメリットを強く感じるから |
| 6. その他 () |

問2-11 定年後も仕事を続ける人は、労働組合に加入するのがよいと思いますか。(○は一つ)

- 1. 加入した方がよい
- 2. 加入しなくてよい
- 3. わからない

付問 2-11-1 どのような組合に加入するのがよいと思いますか。(○は一つ)

- 1. 職場の労働組合
- 2. 個人加盟の労働組合
- 3. いちがいにいえない

問5へお進みください

(問1で「2」「3」と回答された方(自営業主・家族従業者)のみお答えください。)

問3 営んでおられる事業についてお答えください。

問3-1 事業は、次のどれにあてはまりますか。(○は一つ)

- 1. 親など親族の家業を現在の事業主が継いだ
- 2. 家業ではないが、現在の事業主が前の事業主から頼まれて後継者となった
- 3. 現在の事業主が自分で起業した
- 4. その他

問3-2 主な業種は、いずれにあてはまりますか。(○は一つ)

- | | | |
|----------|------------|-----------------|
| 1. 農林水産業 | 7. 小売業 | 13. 事業所向けのサービス業 |
| 2. 鉱業 | 8. 卸売業 | 14. 個人向けのサービス業 |
| 3. 建設業 | 9. 金融・保険業 | 15. その他のサービス業 |
| 4. 製造業 | 10. 不動産業 | 16. その他の業種 () |
| 5. 運輸業 | 11. 飲食店 | |
| 6. 通信業 | 12. 旅館・ホテル | |

問3-3 あなたご自身が現在の事業の仕事を始められたのは、いつですか。年号又は西暦で、お答えになりやすい方でお答えください。なお、お答えになった年号や西暦に○をつけてください。

(昭和 ・ 平成 ・ 西暦) 年

問3-4 それ以前に会社勤めをされた経験がありますか。(○は一つ)

- 1. ある
- 2. ない

問3-5 現在の事業では、ご家族や親族の方以外に人を雇っていますか。(○はいくつでも)

- 1. 正規の従業員を雇っている → 付問3-5-1 人程度
- 2. パートタイマーやアルバイトなどを常時雇っている → 人程度
- 3. 必要なときだけ臨時に雇うことがある
- 4. 原則として人は雇わない
- 5. なんともいえない

付問3-5-2 人程度

問3-6 現在、事業は順調ですか。(○は一つ)

- 1. 順調に伸びている
- 2. 伸びてはいないがなんとかなっている
- 3. あまり良い状態ではない
- 4. かなり悪い状態である
- 5. なんともいえない

問3-7 今の事業に、「後継者」はいらっしゃいますか。(○は一つ)

- 1. いる
- 2. 確定はしていないができる見込みである
- 3. 今のところいない
- 4. 事業は今の代で閉めるつもりである
- 5. なんともいえない

問5へお進みください

(問1で「4」と回答された方(現在仕事をしていない方)のみお答えください。)

問4 今後の就業意向等をおたずねします。

問4-1 ここ3年間において何かお仕事をされていたことがありましたか。(〇は一つ)

1. ある 2. ない

付問4-1-1 そのお仕事は、次のどれでしたか。2つ以上ある場合は、もっとも長く従事されたものをお答えください。(〇は一つ)

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 正規の雇用者 | 4. 自己の自営業 |
| 2. パートタイマーなど非正規の雇用者 | 5. 家族や親族の自営業 |
| 3. 会社の役員 | |

付問4-1-2 その仕事を辞めた理由は何でしたか。(〇は一つ)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 会社や事業の倒産 | 4. 3以外の契約期間の満了 |
| 2. 事業縮小に伴う人員整理の対象になった | 5. 自己の都合で |
| 3. 定年又は定年に準じた退職 | 6. その他 () |

問4-2 現在お仕事を探されていますか。(〇は一つ)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. すでに次の仕事は決まっている |
| 2. 仕事を探しており、すぐにでも仕事に就きたい |
| 3. 仕事を探しているが、良い仕事があれば慌てて就く必要はない |
| 4. ゆくゆくは何か仕事をしたいと思うが、現在はとくに探していない |
| 5. 仕事をしたいとは思わない |

2. これまでの経歴についてお伺いします。

(ここからは全員の方がお答えください。)

問5 お生まれになった年月を教えてください。

年号又は西暦で、お答えになりやすい方でお答えください。なお、お答えになった方の年号や西暦に〇をつけてください。

(昭和 ・ 西暦) 年 月

問6 突然ですが、あなたが「ふるさと」と感じておられるところのある都道府県名を教えてください。

(とくにない場合は空欄で結構です。)

(都道府県名)

付問6-1 それはどのようなところですか。(〇はいくつでも)

- | |
|----------------------------|
| 1. 生まれたところ |
| 2. 卒業した中学校があるところ |
| 3. 卒業した高等学校があるところ |
| 4. 両親や親族が住んでいるところ |
| 5. これまで住んだ中でもっとも気に入っているところ |
| 6. その他 () |

問7 あなたが幼年期や学齢期にあったときのお宅は、次のどれにもっともよくあてはまりますか。(〇は一つ)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 会社、工場、役所などに勤めるサラリーマンの家庭 |
| 2. 会社の社長や重役の家庭 |
| 3. 農林水産業を営む家庭 |
| 4. 自営の商店や工場を営む自営業の家庭 |
| 5. 弁護士・会計士・税理士・医者などの専門的な自由業の家庭 |
| 6. その他 () |

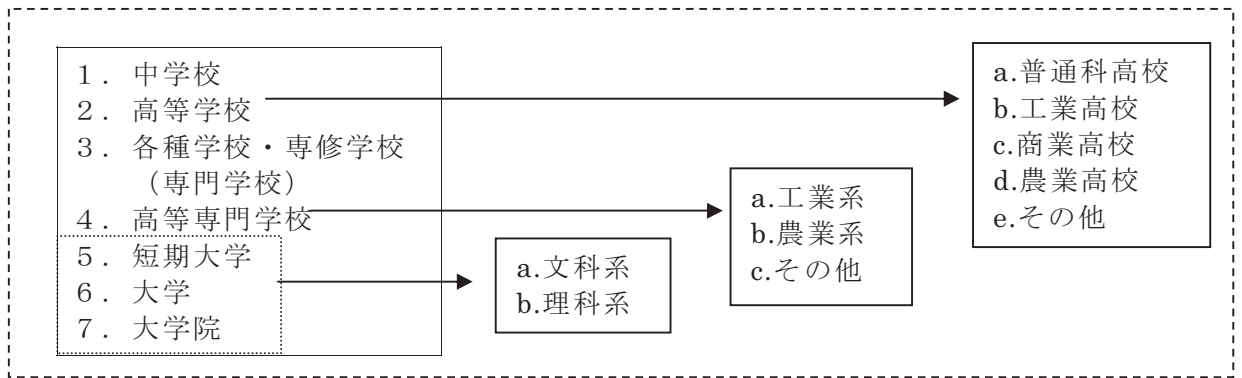
問 8 最終学歴を教えてください。

問 8 - 1 下から選んで、あてはまる番号と記号を記入してください。

学校等の番号	専攻等の記号



下から選んで番号と記号で記入してください。



問 8 - 2 最終学歴を卒業（又は修了）されたのは、いつですか。年号又は西暦で、お答えになりやすい方でお答えください。なお、お答えになった年号や西暦に○をつけてください。

(昭和 ・ 平成 ・ 西暦) 年

問 9 学生時代のアルバイトや臨時的なものを除き、あなたの職業生活において本格的に初めて就かれた仕事についておたずねします。

問 9 - 1 本格的に初めて仕事に就かれたのは、いつでしたか。年号又は西暦で、お答えになりやすい方でお答えください。なお、お答えになった年号や西暦に○をつけてください。

(昭和 ・ 平成 ・ 西暦) 年

問 9 - 2 学校卒業後に初めて就いた仕事はどれにあてはまりますか。(○は一つ)

- | |
|-------------------------|
| 1. 希望どおりの仕事だった |
| 2. 希望どおりではないがそれに近い仕事だった |
| 3. 希望していない仕事だった |

問 9 - 3 その仕事には満足していましたか。次の5段階で評価してください。(番号一つに○)

満足	ふつう	不満		
5	4	3	2	1

問 9 - 4 初めて職に就かれて、仕事をする上で必要な知識や技能、社会人としての身の処し方などを身に付けるに当たって役に立ったものは次のどれですか。役に立ったと思われる順に3つあげてください。

役に立った順に
番号を記入→

- | |
|--------------------------------|
| 1. 就職先の会社が行った研修や訓練 |
| 2. 就職先の会社の上司や先輩のアドバイスや指導 |
| 3. 取引先など仕事をする上で関係した人々のアドバイスや指導 |
| 4. 学校時代の教育 |
| 5. 自分で勉強したこと |
| 6. 親や親戚などのアドバイス |
| 7. その他 () |

問 10 現在までの職業経歴をおたずねします。

問 10-1 あなたが仕事でもっとも輝いていたときは、いつですか。(○は一つ)

- | | | |
|----------|----------|----------------------|
| 1. 10代後半 | 5. 30代後半 | 9. 今(50代後半) |
| 2. 20代前半 | 6. 40代前半 | 10. 輝いていたと思う時期はとくにない |
| 3. 20代後半 | 7. 40代後半 | |
| 4. 30代前半 | 8. 50代前半 | |

問 10-2 現在までに、転職をされたことはありますか。(○は一つ)

(転職とは、雇用される会社等を変えたり(出向を除く)、自営する事業の内容を大きく変えたりすることをいいます。)

付問 10-2-1
1. ある → 何回くらいですか 回
2. ない

過去に会社勤めの経験がない方は、問 10-5 へ飛んでください。

問 10-3 現在までに転勤(住居の移転を伴う異動)をされたことはありますか。

(○は一つ)

付問 10-3-1、付問 10-3-2
1. ある → 勤務地は合計でいくつくらいですか 箇所
2. ない うち海外 箇所

問 10-4 あなたが現在までに就かれた役職で、最高のクラスはいずれにあてはまりますか。

(○は一つ)

- | | | |
|-------------|----------|--------------|
| 1. 一般社員クラス | 4. 課長クラス | 6. 役員クラス |
| 2. 職長・班長クラス | 5. 部長クラス | (部門の管理職を兼務) |
| 3. 係長クラス | | 7. 6以外の役員クラス |

問 10-5 現在までに従事してこられた仕事の内容は、次のどれにもっとも近いですか。

(○は一つ)

- | |
|---|
| 1. ずっと同じような仕事をしてきた |
| 2. いろいろ経験したが、振り返ってみるとある特定分野に関連する仕事をしてきた |
| 3. 分野を越えたいろいろな内容の仕事をしてきた |
| 4. なんともいえない |

問 10-6 これまでのキャリアの中でご自身の「得意なもの」や「おはこ」と呼べるものはありますか(○は一つ)

1. ある → 付問 10-6-1 どのようなものですか。
2. とくにない 具体的にお書きください。
3. なんともいえない

付問 10-6-2 それを身につけたのはいつですか。(○は一つ)

- | | | |
|----------|----------|-------------|
| 1. 10代後半 | 4. 30代前半 | 7. 40代後半 |
| 2. 20代前半 | 5. 30代後半 | 8. 50代前半 |
| 3. 20代後半 | 6. 40代前半 | 9. 今(50代後半) |

問 10-7 現在のあなたは、次のどのタイプだと思われますか。(○は一つ)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 多様な分野で活かせる能力をもったジェネラリストのタイプ |
| 2. 特定の分野でとくに活かせる能力をもったスペシャリストのタイプ |
| 3. ものづくりの分野において一人で仕事をやり遂げていく職人タイプ |
| 4. なんともいえない |

問 11 ここ5年間において、あなた自身に限らずあなたの職場でいわゆるリストラによる人員削減がありましたか。(○は一つ)

- | | |
|---------|-----------------------------|
| 1. あった | 3. わからない |
| 2. なかった | 4. ここ5年間に会社勤めの経験がないので回答できない |

問 12 これまでの職業生活の中で、失業され、公共職業安定所で失業保険(雇用保険失業手当)を受給されたことはありますか。(○は一つ)

- | | |
|--------|---------|
| 1. あった | 2. なかった |
|--------|---------|

問 13 仕事や会社とのかかわり方について、これまでどのように感じてこられましたか。①～⑥についてそれぞれあてはまる番号を一つ選んで○で囲んでください。

<会社勤めの経験のない方は、④～⑥はお答えにならなくても結構です。>

(横方向で○はそれぞれ一つ)

まったく そのとおり	まあその とおり	なんとも いえない	あまりそう でない	まったく 違う
---------------	-------------	--------------	--------------	------------

① 仕事の中でこそ自己実現が図れる	1	2	3	4	5
② 仕事は生計を立てるための手段にすぎない	1	2	3	4	5
③ 仕事のためなら自分の生活を多少とも犠牲にするのは当たり前だと思う	1	2	3	4	5
④ 上司や同僚とは仕事を離れてもつきあいたい	1	2	3	4	5
⑤ 能力が発揮できる場があれば昇進しなくてもよい	1	2	3	4	5
⑥ 定年後は会社の世話になりたくない	1	2	3	4	5

3. 現在の仕事や生活などについてお伺いします。

問 14 現在の仕事をめぐる状況についておたずねします。

(現在仕事をされていない方は次ページの間 15 へ飛んでください。)

問 14-1 現在のお仕事を遂行されるなかで、どのような場合にきつさをお感じになりますか。(○は一つ)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 全般的に仕事がきつと感じる |
| 2. 仕事を立て込んだときにきつと感じる |
| 3. トラブルの発生など通常と違う状況のときにきつと感じることがある |
| 4. きつと感じることはあまりない |
| 5. なんともいえない |

問 14-2 同じ仕事をするとして、現在のあなたの職業能力は、仕事を始めて数年の若い人と比べてどれくらいにあたると思いますか。(○は一つ)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 若い人をかなり上回っていると思う | 4. 若い人にはかなわないと思う |
| 2. 若い人よりは上回っていると思う | 5. なんともいえない |
| 3. 同じようなものだと思う | |

問 14-3 あなたの身につけた技能や技術は後継者（職場の後輩、跡継ぎ）に伝えるべきだと思いますか。（○は一つ）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 伝えるべきである | 2. 伝える必要はない |
|-------------|-------------|

付問 14-3-1 うまく伝わっていると思いますか。（○は一つ）

- | | |
|----------------|------------------------------------|
| 1. うまく伝わっている | 付問 14-3-2 その理由はなんですか。
(○はいくつでも) |
| 2. ある程度伝わっている | |
| 3. あまり伝わっていない | |
| 4. まったく伝わっていない | |

- | |
|---------------------|
| 1. 技術を伝える相手がそもそもいない |
| 2. 伝えたが相手がすぐ辞めてしまった |
| 3. 時間が足りない |
| 4. 会社のサポートが足りない |
| 5. 会社が伝達の機会を与えてくれない |
| 6. その他 |

問 14-4 あなたの身につけた技能や技術の後継者に伝えるには、どれくらいの期間がかかると思いますか。

□年くらい

問 14-5 あなたの仕事を他の人と分担することは可能ですか。（○は一つ）

- | | | |
|----------------|--------------|-------------|
| 1. すぐに可能 | 3. 大変な工夫を要する | 5. なんともいえない |
| 2. 多少の工夫があれば可能 | 4. 可能でない | |

(ここからは全員の方がお答えください。)

問 15 現在の暮らしの状況などについて、おたずねします。

問 15-1 自分たちの老後資金以外に、次のような生活上の課題はありますか。

(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 就職してはいるが未婚の子どもがいるので、今後その結婚のための出費が予想される |
| 2. 就学中の子どもがいるので、まだまだ教育費が掛かりそう |
| 3. 住宅ローンがまだかなり残っている |
| 4. 老親等の面倒をみたり介護をしたりする必要がある |
| 5. その他 () |
| 6. 上記のような課題は、とくにない |

問 15-2 老後のための資金を考えて、蓄えの目標のようなものをたてておられますか。（○は一つ）

- | | |
|-------------------------|-----------------------------------|
| 1. たてており、既に目標を達成している | 付問 15-2-1 目標は達成でき
そうですか。（○は一つ） |
| 2. たてており、目標の達成に向け努力している | |
| 3. たてていない | |
| 4. 考えたことがない | |

- | |
|-----------------|
| 1. 十分達成できる |
| 2. なんとも達成できそう |
| 3. 達成はかなり困難である |
| 4. とても達成できそうにない |
| 5. なんともいえない |

問 16 現在お仕事以外にボランティア活動など社会的活動に参加されていますか。(○は一つ)

1. 参加している
2. 参加していない

付問 16-1 それほどのような活動ですか。(○はいくつでも)

1. 商店会、商工会や消防団などの地域貢献活動
2. 町内会やマンション管理組合など近隣生活に関する活動
3. 社会福祉法人などの施設でのボランティア活動
4. NPO 法人（特定非営利活動法人）の運営や活動に参加
5. その他のボランティア団体の活動に参加
6. 野球やサッカーなど、子どものスポーツ活動への参加
7. 自分でやるスポーツや趣味のサークルなど同好会的な活動
8. その他（ ）

付問 16-2 NPO 法人の活動にはいつから参加されていますか。(○は一つ)

1. 5年以上前から
2. 3～4年くらい前から
3. 1～2年くらい前から
4. 最近参加した

付問 16-3 その NPO 法人の組織としての立上げにはかかわりましたか。(○は一つ)

1. かかわった
2. かかわっていない

4. 今後の仕事や社会活動の見通しについてお伺いします。

(現在仕事をお持ちの方のみお答えください。仕事をお持ちでない方は、次の問 18 へ)

問 17 あなたのご希望として、60 歳以降も現在の職場で仕事をされようと思いませんか。(○は一つ)

1. 思う
2. 思わない

付問 17-1 何歳くらいまで現在の職場で仕事されたいですか。

□□□□ 歳くらいまで

付問 17-2 あなたのご希望は、実現しそうですか。(○は一つ)

1. 実現すると思う
2. 条件さえ整えば実現できると思う
3. 希望は希望で、実現は難しいと思う
4. なんともいえない

付問 17-3 就業を継続するのに必要な措置は何ですか。(○はいくつでも)

1. 定年年齢の延長
2. 定年年齢以降も引き続き雇用を継続する制度を整備すること
3. 定年年齢そのものの撤廃
4. 仕事の内容を見直すこと
5. 高齢者の再教育や訓練を行うこと
6. 短時間勤務ができるようにすること
7. 少ない日数での勤務ができるようにすること
8. 賃金や処遇を見直すこと
9. 技能や知識の引継ぎのための指導者として活用すること
10. その他（ ）
11. 特別の措置は必要ない

(全員の方がお答えください。)

問 18 何歳くらいまで収入を伴う仕事をしたいと思われますか。

□□□□ 歳くらいまで

付問 18-1 そのご希望は実現できそうですか。(○は一つ)

1. 実現すると思う
2. 条件さえ整えれば、実現できると思う
3. 実現は難しいと思う
4. なんともいえない

問 19 60歳以降でお仕事をされるときの動機や理由はなんですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 収入を得るため | 5. 家に居場所がないため |
| 2. 自分の知識や能力を活かすため | 6. その他 () |
| 3. 健康や体力を維持するため | 7. とくに理由はない |
| 4. 働くのが当たり前だから | |

問 20 60歳以降でお仕事をする場合、どのような仕事をしたいですか。(○はいくつでも)

- | |
|------------------------------|
| 1. これまでと同様の仕事 |
| 2. 同様ではないが、これまでの知識や経験の活かせる仕事 |
| 3. これまでと異なる分野の仕事 |
| 4. とくに仕事の内容にはこだわらない |
| 5. なんともいえない |

問 21 60歳以降でお仕事をする場合、少なくともどれくらいの収入を希望されますか。(○は一つ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 現在の収入と同程度 | 4. 現在の収入の3～4割程度 |
| 2. 現在の収入の7～8割程度 | 5. 特に収入にはこだわらない |
| 3. 現在の収入の半分程度 | 6. なんともいえない |

問 22 60歳以降の各年代において、どのような形でお仕事や社会的活動をされたいですか。
(横方向でそれぞれの年齢ごとにあてはまる番号すべてに○)

	正社員として働く	契約社員や嘱託として働く	短時間勤務で働く	自営業を営む	親族や知人の事業を手伝う	ボランティア活動をする	仕事や社会的活動はしない
61歳	1	2	3	4	5	6	7
62歳	1	2	3	4	5	6	7
63歳	1	2	3	4	5	6	7
64歳	1	2	3	4	5	6	7
65歳	1	2	3	4	5	6	7
66歳	1	2	3	4	5	6	7
67歳	1	2	3	4	5	6	7
68歳	1	2	3	4	5	6	7
69歳	1	2	3	4	5	6	7
70歳以降	1	2	3	4	5	6	7

問 23 60歳以降でのお仕事や社会的活動に向けて次のような準備をされていますか。または、今後しようと思われませんか。(縦方向でそれぞれ○はいくつでも)

	今現在している	今後しようと思う
仕事や社会的活動に関する情報や資料の収集	1	1
書籍、専門誌などでの必要な知識の修得	2	2
セミナーや短期間の講習会への参加	3	3
大学や大学院での履修	4	4
他の専門的な教育訓練機関による教育訓練の受講	5	5
体験学習会などへの参加	6	6
その他	7	7
とくに何もしない	8	8

5. 今後の暮らしや生活の見通しについてお伺いいたします。

問 24 60歳以降どこにお住みになろうと思っ
ていますか。(○は一つ)

1. 今後とも現在の住まいで暮らそうと思
う
2. 当分は現在の住まいで暮らす
が、いずれ転居しようと思
う
3. それほど遠くない時期に
転居しようと思
う
4. 考えていない
5. なんともいえない

付問 24-1 転居されようとする先は、どのよう
なところですか。(○は一つ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 大都市の中 | 5. その他の都市の中 |
| 2. 大都市の郊外 | 6. その他の都市の郊外 |
| 3. 地域の中心都市の中 | 7. 上記以外の町村地域 |
| 4. 地域の中心都市の郊外 | |

付問 24-2 どこかお考えのところがあ
れば、その都道府県名を教えてください。

(都道府県名)

問 25 63歳、67歳の時点で、それぞれど
なたと一緒に住み込まれていると思
われますか。(縦方向で○はいくつ
でも)

	63歳の頃	67歳の頃
配偶者	1	1
長男	2	2
長女	3	3
その他の男の子ども	4	4
その他の女の子ども	5	5
自分の親	6	6
配偶者の親	7	7
その他の親族	8	8
友人・知人	9	9
単身で住んでいる	10	10

付問 25-1 このような見通しについて、配
偶者の方と話し合われたことはあり
ますか。(○は一つ)

1. 話し合いをし、意見が一致して
いる
2. 話し合いはしたが、意見がま
とまっているとはまだいえない
3. 話し合ったことはないが、同
じ意見だと思う
4. 話し合ったことはない
5. なんともいえない
6. 配偶者はいない

問 26 あなたは次のような年金を受け
取ることができますか。(○はいくつ
でも)

1. 厚生年金
2. 共済年金
3. 国民年金
4. 企業年金
5. 生命保険などの積立による私
的年金
6. 年金はない

付問 26-1 1～3の年金が何歳から受給
でき
るかご存じですか。(○は一つ)

1. 知っている
2. 知らない

付問 26-1-1

歳から

付問 26-2 1～3の年金で月額いく
ら
くらい受け取れるかご存じですか。
(○は一つ)

1. 知っている
2. 知らない

付問 26-2-1

万円くらい

問 27 63 歳くらいと 67 歳くらいのときのあなたの家計をイメージしたとき、一月あたりでみてどのような収支になると見込まれますか。

	63 歳くらいのとき	67 歳くらいのとき	
A 支出総額	[] 万円くらい	[] 万円くらい	
B 収入総額	[] 万円くらい	[] 万円くらい	
(収入内訳)	仕事からの収入	[] 万円くらい	[] 万円くらい
	厚生年金など公的な年金収入	[] 万円くらい	[] 万円くらい
	企業年金や私的な年金の収入	[] 万円くらい	[] 万円くらい
	その他の収入	[] 万円くらい	[] 万円くらい

問 28 あなたの今後の生活設計において不安と覚えることは何ですか。(○はいくつでも)

1. ご自身の健康	5. 子どもの行く末	9. 日常生活の過ごし方
2. 配偶者の健康	6. 医療費の負担	10. その他
3. 今後の生活資金	7. 住居の確保	()
4. 老親等の介護	8. 仕事のこと	11. とくにない

問 29 最後に、分析する際に必要な範囲で、あなたやご家族のことについてお伺いします。

①性別は。(○は一つ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

②夫／妻は。(○は一つ)

1. あり	2. なし
-------	-------



付問 29-②-1 お仕事をお持ちですか。(○は一つ)

1. もっている	2. もっていない
----------	-----------

③お子さんは？(いらっしゃる欄に人数をご記入ください。)

	就学前	小学生	中学生	高校生	それ以上の学生	社会人
男のお子さん	人	人	人	人	人	人
女のお子さん	人	人	人	人	人	人

④親と同居の有無 (○は一つ)

1. 同居している	2. 同居していない
-----------	------------

⑤お住まいの所在地は？

(都道府県名)

--

⑥お住まいの地域はどういうところですか(感覚でも結構です)(○は一つ)

1. 大都市の中	4. 地域の中心都市の郊外	7. 上記以外の町村地域
2. 大都市の郊外	5. その他の都市の中	
3. 地域の中心都市の中	6. その他の都市の郊外	

⑦現在の住居は？（○は一つ）

1. 持ち家 2. 社宅など 3. 公営賃貸住宅 4. 民間賃貸住宅 5. その他

⑧お仕事をやる時間（残業なども含めておおよそ1週間にどのくらい仕事されますか。）
（○は一つ）

1. 20時間未満 5. 35時間以上 40時間未満 9. 55時間以上 60時間未満
2. 20時間以上 25時間未満 6. 40時間以上 45時間未満 10. 60時間以上
3. 25時間以上 30時間未満 7. 45時間以上 50時間未満 11. 仕事はしていない
4. 30時間以上 35時間未 8. 50時間以上 55時間未満

⑨あなたご自身の年収はどれくらいですか。（税込みでのおおよその総額）（○は一つ）

1. 200万円未満 9. 900万円以上 1,000万円未満
2. 200万円以上 300万円未満 10. 1,000万円以上 1,100万円未満
3. 300万円以上 400万円未満 11. 1,100万円以上 1,200万円未満
4. 400万円以上 500万円未満 12. 1,200万円以上 1,300万円未満
5. 500万円以上 600万円未満 13. 1,300万円以上 1,400万円未満
6. 600万円以上 700万円未満 14. 1,400万円以上
7. 700万円以上 800万円未満 ↘ [百万円台]
8. 800万円以上 900万円未満

⑩あなたの年収が世帯全体の収入に占める割合は。
（あなた以外に収入のある方がいないときは、「10」とご記入ください。）

割くらい

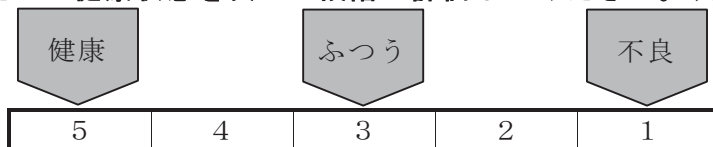
⑪世帯の貯蓄はあなたの年収の何割くらいですか。
（例えば年収の1.5倍であれば「15」となります。）

あなたの年収の 割くらい

⑫貯蓄のうち、株式や株式投信の占める割合は。

割くらい

⑬ふだんの健康状態を次の5段階で評価してください。（○は一つ）



質問はこれで終わりです。ご回答ありがとうございました。

2. 「団塊の世代」の妻を対象とした調査（妻調査）票



「団塊の世代」の就業と生活のビジョンに関する調査

< K2538¥¥¥ >

2006年10月

拝啓 秋晴れの候、皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は、私ども（株）インテージの調査にご協力くださいます、誠にありがとうございます。皆さまのご意見は、貴重な資料として活用させていただいております。

さてこの度、独立行政法人労働政策研究・研修機構（JILPT）より委託を受け、「団塊の世代」の就業と生活のビジョンに関する調査を行うことになりました。いわゆる「団塊の世代」が60代を迎えようとしています。700万人ともいわれるこの世代の人々がどのような60代を送られるかは、わが国の経済社会のあり方にも大きな影響を与えることとなります。JILPTでは、そうした実態を把握・分析するとともに、その政策課題を探る研究プロジェクトを進めており、この調査はその重要な一環として、昭和22～26年生まれの方を配偶者に持つ方を対象に行うものです。

モニターの皆様にご記入頂いた内容については、すべて数値化された後、統計的に処理されます。また研究以外の目的には使用しませんので、プライバシーを侵害するようなことはありません。つきましては是非ともご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

調査に関して不明な点などございましたら遠慮なくご連絡ください。ご多忙中恐縮ですが、同封の封筒（切手不要）により、10月16日（月曜日）までにご投函くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、些少ではございますがお礼といたしまして図書カードを同封させていただきましたので、ご笑納ください。末筆ながら、ご家族の皆さまのご健康をお祈り申し上げます。

敬具

ご記入上の注意 ～今回は宛名の方ご本人様にご記入ください

1. 特に指定のない限り、回答は選択肢の番号に○印をつけてください。 には具体的な数字を記入してください。
2. 選択肢で「その他」に○をつける場合、なるべく具体的な事柄を記入してください。
3. ご記入いただきました調査票は、お手数でもご記入もれなどないかお確かめの上、同封の返送用封筒（切手は不要です）にて10月16日（月）までにご投函ください。

<調査票の内容、記入方法に関する問い合わせ>

株式会社インテージ メールセンター 〒203-8686 東京都東久留米市本町1-4-1
TEL: 0120-483-433 (フリーダイヤル: 平日 9:00～17:00) 担当: 木野村

<調査の趣旨に関する問い合わせ>

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23 独立行政法人 労働政策研究・研修機構
担当: 労働条件・就業環境研究担当 浅尾

(TEL: 03-5991-5171, Email: , URL: <http://www.jil.go.jp>)

<独立行政法人労働政策研究・研修機構とは・・・>

「独立行政法人労働政策研究・研修機構法」（平成14年法律第169号）に基づき設立された厚生労働省所管の公的な法人で、労働政策の企画立案に資する調査研究業務などを行っています。調査研究の結果は、労働政策研究報告書などの形でとりまとめ、厚生労働省における労働政策の企画や労働行政推進の基礎資料として活用されるとともに、労働関係の政策論議の活性化に向けて、関係者を始め広く提供しています。

詳細は、JILPT ホームページ (<http://www.jil.go.jp>) をご覧ください。

ご記入いただいた方のお名前は…

お名前		様
変更後 ご住所	（ご住所は、お送りした宛て名ラベルから <u>変更のある方のみ</u> ご記入ください） 〒 TEL ()	

【調査を始めるにあたって】

以下の質問では、この調査票にお答えいただく方、つまり「団塊の世代」（昭和 22 年～26 年生まれ）の男性を配偶者（夫）とされている方（妻）を「あなた」とお呼びします。また、あなたの配偶者（夫）を、一般的な慣例に従って、「ご主人」とお呼びしますが、特に他意はありません。

1. 夫（ご主人）のお仕事についてお伺いします。

問 1 ご主人は、職場やお仕事のことについてあなたによく話される方ですか。（○は一つ）

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 何事によらず話をする方である | 3. 職場や仕事のことにはめったに話さない |
| 2. 特別のことがあったときだけ話をする | 4. なんともいえない |

問 2 ご主人は、現在どのような形でお仕事をされていますか。（○は一つ）

- | | | |
|---|---|------------|
| 1. 会社や官庁などに雇われている（雇用者である。）
（従業員や職員だけではなく会社の役員を含みます。） | → | 引き続き問 3 へ |
| 2. 自分で事業を営んでいる（自営業主である） | → | 3 ページ問 4 へ |
| 3. 家族や親族が自営する事業で働いている（家族従業者である） | → | 4 ページ問 5 へ |
| 4. 仕事はしていない | → | |

（問 2 で「1」（ご主人が雇用者）と回答された方のみお答えください。）

問 3 ご主人がお勤めの会社やお仕事についてお答えください。

問 3-1 業種は、どれですか。（○は一つ）

- | | | |
|-----------------|--------------------------|----------------------|
| 1. 農林水産業 | 9. 小売業 | 17. 個人向けのサービス業 |
| 2. 鉱業 | 10. 金融・保険業 | 18. 病院、学校その他公共のサービス業 |
| 3. 建設業 | 11. 不動産業 | 19. 国・県・市町村の公務 |
| 4. 製造業 | 12. 飲食店 | 20. その他 |
| 5. 電気・ガスなどの公益産業 | 13. 旅館・ホテル | () |
| 6. 運輸業 | 14. 労働者派遣事業 | 21. わからない |
| 7. 通信業 | 15. 業務請負事業 | |
| 8. 卸売業 | 16. 14、15 以外の事業所向けのサービス業 | |

問 3-2 会社等の規模は、どれくらいですか。（○は一つ）

- | | | |
|------------|--------------|------------------|
| 1. 1～9 人 | 4. 50～99 人 | 7. 1,000～4,999 人 |
| 2. 10～29 人 | 5. 100～299 人 | 8. 5,000 人以上 |
| 3. 30～49 人 | 6. 300～999 人 | 9. わからない |

問 3-3 ご主人の雇用形態は、いずれにあてはまりますか。（○は一つ）

- | | | |
|---------|---------|--------------|
| 1. 正社員 | 3. 契約社員 | 5. その他の非正規社員 |
| 2. 出向社員 | 4. 嘱託社員 | 6. わからない |

問 3-4 ご主人の役職は、いずれにあてはまりますか。（○は一つ）

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. 一般社員クラス | 4. 課長クラス | 7. わからない |
| 2. 職長・班長クラス | 5. 部長クラス | |
| 3. 係長クラス | 6. 役員クラス | |

問 3-5 ご主人はどのようなお仕事ですか。もっとも近いものに一つだけ○をつけてください。（○は一つ）

- | | | |
|---------------|-------------|----------------|
| 1. 専門的・技術的な仕事 | 5. サービスの仕事 | 8. 技能工・生産工程の仕事 |
| 2. 管理的な仕事 | 6. 保安の仕事 | 9. 労務作業等の仕事 |
| 3. 事務の仕事 | (警備、守衛など) | 10. その他 () |
| 4. 販売の仕事 | 7. 運輸・通信の仕事 | 11. わからない |

問 3-6 ご主人に定年がありますか。(○は一つ)

- 1. 定年はない
- 2. 定年がある

付問 3-6-1 定年は何歳ですか。

歳

付問 3-6-2 定年以降も現在の会社で仕事が続けられそうですか。(○は一つ)

- 1. 続けられそう
- 2. 定年で退職すると思う
- 3. わからない

4 ページ問 5 へお進みください

(問 2 で「2」「3」(ご主人が自営業主・家族従業者)と回答された方のみお答えください。)

問 4 ご主人が働いておられる事業についてお答えください。

問 4-1 事業は、次のどれにあてはまりますか。(○は一つ)

- 1. 親など親族の家業を現在の事業主が継いだ
- 2. 家業ではないが、現在の事業主が前の事業主から頼まれて後継者となった
- 3. 現在の事業主が自分で起業した
- 4. その他
- 5. わからない

問 4-2 業種は、いずれにあてはまりますか。(○は一つ)

- | | | |
|----------|------------|-----------------|
| 1. 農林水産業 | 7. 小売業 | 13. 事業所向けのサービス業 |
| 2. 鉱業 | 8. 卸売業 | 14. 個人向けのサービス業 |
| 3. 建設業 | 9. 金融・保険業 | 15. その他のサービス業 |
| 4. 製造業 | 10. 不動産業 | 16. その他の業種 |
| 5. 運輸業 | 11. 飲食店 | () |
| 6. 通信業 | 12. 旅館・ホテル | 17. わからない |

問 4-3 その事業では、ご家族や親族の方以外に人を雇っていますか。(○はいくつでも)

- 1. 正規の従業員を雇っている
 - 2. パートタイマーやアルバイトなどを常時雇っている
 - 3. 必要なときだけ臨時に雇うことがある
 - 4. 原則として人は雇わない
 - 5. なんともいえない
 - 6. わからない
- 付問 4-3-1 人程度
- 付問 4-3-2 人程度

問 4-4 あなたご自身は、その事業に従事されていますか。(○は一つ)

- 1. いつも従事している
- 2. ときどき従事している
- 3. ほとんど従事していない
- 4. まったく従事していない

問 4-5 現在、事業は順調ですか。(○は一つ)

- 1. 順調に伸びている
- 2. 伸びてはいないがなんとかなっている
- 3. あまり良い状態ではない
- 4. かなり悪い状態である
- 5. なんともいえない

問 4-6 今の事業に、「後継者」はいらっしゃいますか。(○は一つ)

- 1. いる
- 2. 確定はしていないができる見込み(のよう)である
- 3. 今のところいない
- 4. 事業は今の代で閉めるつもり(のよう)である
- 5. なんともいえない

引き続き問 5 へお進みください

2. あなたとご主人とのご結婚などについてお伺いします。

(ここからは全員の方がお答えください。)

問5 あなたとご主人とがご結婚されたのは、いつですか。年号又は西暦で、お答えになりやすい方でお答えください。なお、お答えになった年号や西暦に○をつけてください。

(昭和 ・ 平成 ・ 西暦) 年

付問5-1 あなたとご主人のご結婚は、次のうちもっともあてはまるのはどれですか。(○は一つ)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 恋愛結婚
2. お見合い結婚
3. その他
() |
|---------------------------------------|

付問5-2 出会いはどこでしたか。(○は一つ)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 職場 | 2. 学校 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

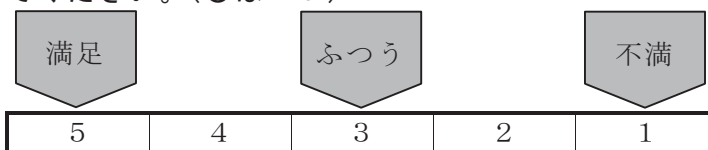
問6 次の文章は、夫婦について一般によくいわれる記述ですが、現在のあなた方ご夫婦についてもっともあてはまるのはどれですか。(○は一つ)

- | |
|--|
| 1. 何につけ一緒に行動(活動)をともにすることが多い「おしどり夫婦」
2. 趣味や余暇活動をともにすることが多い「仲良し夫婦」
3. ご夫婦別々の趣味や余暇活動を楽しむ「独立独歩夫婦」
4. 苦難の多い人生を共に歩んできた「戦友夫婦」
5. お互いの存在を普段意識しない「空気のような存在夫婦」
6. 関係は冷え切っている「仮面夫婦」
7. なんともいえない |
|--|

問7 あなたがご結婚の際に描かれていた生活像と比較して、実際の生活をどのように評価されていますか。(○は一つ)

- | |
|--|
| 1. 期待以上に素晴らしいものであった
2. ほぼ期待していたとおりであった
3. 半分くらい期待が実現できた
4. 期待はあまり実現できていない
5. 思い描いたものとはまったく違ったものになった
6. なんともいえない |
|--|

問8 あなたは、ご主人との生活を総合的にどのように評価されていますか。次の5段階で評価してください。(○は一つ)



問9 ここ数年、ふだん、家計のやりくりや子どもの教育、生活設計などについて、ご夫婦で話し合われることはありますか。(○は一つ)

- | |
|--|
| 1. 何かにつけよく話し合う
2. 特別のことがあれば話し合う
3. あなたが相談をもちかけ、ご主人はあいづちを打つことが多い
4. ご主人が相談をもちかけ、あなたはあいづちを打つことが多い
5. 夫婦で話し合うことはほとんどない
6. なんともいえない |
|--|

付問9-1 それはどうしてですか。(○は一つ)

- | |
|---|
| 1. 夫婦で話し合わなければならないテーマがない。
2. どちらか一方が決めるのが習慣だから
3. なんともいえない／とくに理由はない |
|---|

問10 ふだんご主人は何時頃帰宅されますか。また、休日は家にいらっしゃることが多いですか。

問 10-1 ご主人のふだんの帰宅時間は。(○は一つ)

1. 午後 6 時には帰宅していることが多い
2. 午後 7 時には帰宅していることが多い
3. 午後 8 時には帰宅していることが多い
4. 午後 9 時には帰宅していることが多い
5. 午後 10 時には帰宅していることが多い
6. 午後 11 時には帰宅していることが多い
7. 午後 12 時には帰宅していることが多い
8. それ以降
9. その他 ()
10. 交替制勤務なので日によって帰宅時間はまちまちである
11. なんともいえない

問 10-2 ご主人は休日は家にいらっしゃることが多いですか。(○は一つ)

1. 家にいて余暇を過ごすことが多い
2. 家にいるが仕事をすることが多い
3. 仕事の関係で外出することが多い
4. 趣味などで 1 人で外出することが多い
5. 夫婦そろって外出することが多い
6. なんともいえない

3. これまでの経歴についてお伺いします。

問 11 あなたとご主人の誕生年月を教えてください。

年号又は西暦で、お答えになりやすい方でお答えください。なお、お答えになった年号や西暦に○をつけてください。

あなたの誕生年月 (昭和 ・ 西暦) 年 月

ご主人の誕生年月 (昭和 ・ 西暦) 年 月

問12 突然ですが、あなたが、「ふるさと」と感じておられるところのある都道府県名を教えてください。(とくにない場合は空欄で結構です。)

(都道府県名)

付問 12-1 それはどのようなところですか。(○はいくつでも)

1. 生まれたところ
2. 卒業した中学校があるところ
3. 卒業した高等学校があるところ
4. 両親や親族が住んでいるところ
5. これまでに住んだ中でもっとも気に入っているところ
6. その他 ()

付問 12-2 それは、ご主人の「ふるさと」と同じですか。(○は一つ)

1. 同じだ
2. 違う
3. なんともいえない／わからない

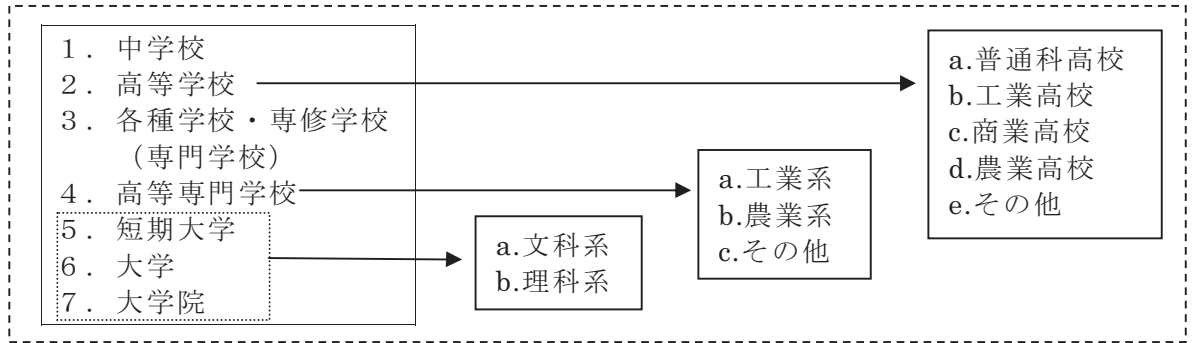
問 13 あなたとご主人の最終学歴を教えてください。

問 13-1 下から選んで、あてはまる番号と記号を記入してください。

	学校等の番号	専攻等の記号
あなた		
ご主人		



下から選んで番号と記号で記入してください。



問 13-2 あなたが最終学歴を卒業（又は修了）されたのは、いつですか。年号又は西暦で、お答えになりやすい方でお答えください。なお、お答えになった年号や西暦に○をつけてください。

(昭和 ・ 平成 ・ 西暦) 年

問 14 学校卒業以降にあなたが就かれたお仕事についてお伺いします。
(お仕事をされたことがまったくない方は、7 ページの問 15 へお進みください。)

問 14-1 学校卒業後初めて本格的にお仕事に就かれたのは、いつでしたか。

(昭和 ・ 平成 ・ 西暦) 年

問 14-2 次の年代ごとに、あなたが就かれたお仕事であてはまるものの番号に○を記入してください。(まだ到達されていない年代は、空欄にしてください。)(横方向で○はいくつでも)

	正社員として	非正社員として	自営又はその手伝いとして	仕事はして いなかった
20 歳代前半	1	2	3	4
20 歳代後半	1	2	3	4
30 歳代前半	1	2	3	4
30 歳代後半	1	2	3	4
40 歳代前半	1	2	3	4
40 歳代後半	1	2	3	4
50 歳代	1	2	3	4
現在	1	2	3	4

(現在お仕事をされている方がお答えください。)

付問 14-2-1 残業なども含めておおよそ 1 週間にどのくらい仕事されますか。(○は一つ)

1. 20 時間未満	5. 35 時間以上 40 時間未満	9. 55 時間以上 60 時間未満
2. 20 時間以上 25 時間未満	6. 40 時間以上 45 時間未満	10. 60 時間以上
3. 25 時間以上 30 時間未満	7. 45 時間以上 50 時間未満	
4. 30 時間以上 35 時間未満	8. 50 時間以上 55 時間未満	

問 14-3 上のような就業経験の中で、あなたは厚生年金、共済年金などに加入していたことはありますか。(○は一つ)

- 1. 加入していた
- 2. 加入していたことはない
- 3. わからない

付問 14-3-1 合計で何年間くらい加入していましたか。

年間くらい

4. 現在の生活などについてお伺いします。

問 15 現在の暮らしの状況などについて、おたずねします。

問 15-1 自分たちの老後資金以外に、次のような生活上の課題はありますか。

(○はいくつでも)

- 1. 就職してはいるが未婚の子どもがいるので、今後その結婚のための出費が予想される
- 2. 就学中の子どもがいるので、まだまだ教育費が掛かりそう
- 3. 住宅ローンがまだかなり残っている
- 4. 老親等の面倒をみたり介護をしたりする必要がある
- 5. その他 ()
- 6. 上記のような課題は、とくにない

問 15-2 老後のための資金を考えて、蓄えの目標のようなものをたてておられますか。

(○は一つ)

- 1. たてており、既に目標を達成している
- 2. たてており、目標の達成に向け努力している
- 3. たてていない
- 4. 考えたことがない

付問 15-2-1 目標は達成できそうですか。(○は一つ)

- 1. 十分達成できる
- 2. なんとか達成できそう
- 3. 達成はかなり困難である
- 4. とても達成できそうにない
- 5. なんともいえない

問 16 あなたは、現在お仕事以外にボランティア活動など社会的活動に参加されていますか。

(○は一つ)

- 1. 参加している
- 2. 参加していない

付問 16-1 それはどのような活動ですか。(○はいくつでも)

- 1. 商店会、商工会や消防団などの地域貢献活動
- 2. 町内会や婦人会、マンション管理組合など近隣生活に関する活動
- 3. 社会福祉法人などの施設でのボランティア活動
- 4. NPO 法人 (特定非営利活動法人) の運営や活動に参加
- 5. その他のボランティア団体の活動に参加
- 6. 野球やサッカーなど、子どものスポーツ活動への参加
- 7. 自分でやるスポーツや趣味のサークルなど同好会的な活動
- 8. その他 ()

付問 16-2 NPO 法人の活動にはいつから参加されていますか。

(○は一つ)

- 1. 5年以上前から
- 2. 3~4年くらい前から
- 3. 1~2年くらい前から
- 4. 最近参加した

付問 16-3 そのNPO法人の組織としての立上げにはかかりましたか。(○は一つ)

- 1. かかわった
- 2. かかわっていない

5. 今後の見通しについてお伺いします。

問 17 今後ご主人には何歳くらいまで仕事をしていて欲しいと思われませんか。

歳くらいまで

付問 17-1 そう思う理由は、何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 収入が必要だから | 4. 働けるうちは働くのが当たり前だから |
| 2. ご主人の知識や能力を活かしてほしいから | 5. ゴロゴロと家にいて欲しくないから |
| 3. ご主人の健康や体力を維持するため | 6. とくに理由はない |

問 18 あなたご自身は、今後高齢期に仕事をしようと思いませんか。(○は一つ)

- | | | | |
|-------|---------|-------------|-------------|
| 1. 思う | 2. 思わない | 3. なんともいえない | 4. 考えたことがない |
|-------|---------|-------------|-------------|

(問 18 で「思う」とお答えになった方に、お伺いします。)

付問 18-1 お仕事をされようとする強い動機や理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 収入を得るため | 4. 働けるうちは働くのが当たり前だから |
| 2. 自分の知識や能力を活かすため | 5. とくに理由はない |
| 3. 健康や体力を維持するため | |

付問 18-2 何歳くらいまで仕事をしようと思いませんか。

歳くらいまで

付問 18-3 どのような形で仕事をされたいですか。

(もっとも希望するものに○一つ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 正社員として働きたい | 4. 親族や知人の事業を手伝いたい |
| 2. パートタイマーとして働きたい | 5. なんともいえない |
| 3. 自営業をしたい | |

問 19 あなたは、今後ボランティアなどの社会貢献活動に参加されようと思いませんか。

(○は一つ)

- | | | | |
|-------|---------|-------------|-------------|
| 1. 思う | 2. 思わない | 3. なんともいえない | 4. 考えたことがない |
|-------|---------|-------------|-------------|

(問 19 で「思う」とお答えになった方に、お伺いします。)

付問 19-1 どのような活動に参加されたいですか。(○はいくつでも)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 現在も行っている活動に引き続き参加したい |
| 2. 商店会、商工会や消防団などの地域貢献活動 |
| 3. 町内会や婦人会、マンション管理組合など近隣生活に関する活動 |
| 4. 老人クラブなど地域コミュニティでの活動 |
| 5. 社会福祉法人などの施設でのボランティア活動 |
| 6. NPO 法人の活動 |
| 7. その他 () |

問 20 今後のお仕事や社会的活動に向けて、あなたは次のような準備をされていますか。また、今後しようと思われませんか。(縦方向でそれぞれ○はいくつでも)

	現在している	今後しようと思う
仕事や社会的活動に関する情報や資料の収集	1	1
書籍、専門誌などでの必要な知識の修得	2	2
セミナーや短期間の講習会への参加	3	3
大学や大学院での履修	4	4
他の専門的な教育訓練機関による教育訓練の受講	5	5
体験学習会などへの参加	6	6
その他	7	7
とくに何もしない	8	8

問 21 ご主人が 60 歳になられて以降どこにお住みになろうと思っけていますか。(○は一つ)

1. 今後とも現在の住まいで暮らそうと思う
2. 当分は現在の住まいで暮らすが、いずれ転居しようと思う
3. それほど遠くない時期に転居しようと思う
4. 考えていない
5. なんともいえない

付問 21-1 転居されようとする先は、どのようなところですか。(○は一つ)

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 大都市の中 | 4. 地域の中心都市の郊外 | 7. 上記以外の町村地域 |
| 2. 大都市の郊外 | 5. その他の都市の中 | |
| 3. 地域の中心都市の中 | 6. その他の都市の郊外 | |

付問 21-2 どこかお考えのところがあれば、その都道府県名を教えてください。

(都道府県名)

問 22 ご主人が 63 歳、67 歳になられる時点で、あなたは、どなたと一緒にお住みになられていると思われませんか。(縦方向で○はいくつでも)

	ご主人が 63 歳の頃	ご主人が 67 歳の頃
ご主人	1	1
長男	2	2
長女	3	3
その他の男の子ども	4	4
その他の女の子ども	5	5
自分の親	6	6
ご主人の親	7	7
その他の親族	8	8
友人・知人	9	9
単身で住んでいる	10	10

問 23 このような見通しについて、ご主人と話し合われたことはありますか。(○は一つ)

1. 話合いをし、意見が一致している
2. 話合いはしたが、意見がまとまっているとはまだいえない
3. 話し合ったことはないが、同じ意見だと思う
4. 話し合ったことはない
5. なんともいえない

問 24 あなたのご主人は次のような年金を受け取ることができますか。(○はいくつでも)

- 1. 厚生年金
- 2. 共済年金
- 3. 国民年金
- 4. 企業年金
- 5. 生命保険などの積立による私的年金
- 6. 年金はない

付問 24-1 1～3の年金が何歳から受給できるか
ご存じですか。(○は一つ)

1. 知っている → 付問 24-1-1
2. 知らない

[] 歳から

付問 24-2 1～3の年金で月額いくらくらい受け取れるか
ご存じですか。(○は一つ)

1. 知っている → 付問 24-2-1
2. 知らない

[] 万円くらい

問 25 では、あなたご自身は次のような年金を受け取ることができますか。(○はいくつでも)

- 1. 厚生年金
- 2. 共済年金
- 3. 国民年金
- 4. 企業年金
- 5. 生命保険などの積立による私的年金
- 6. 年金はない

付問 25-1 1～3の年金が何歳から受給できるか
ご存じですか。(○は一つ)

1. 知っている → 付問 25-1-1
2. 知らない

[] 歳から

付問 25-2 1～3の年金で月額いくらくらい受け取れるか
ご存じですか。(○は一つ)

1. 知っている → 付問 25-2-1
2. 知らない

[] 万円くらい

問 26 ご主人が 63 歳くらいと 67 歳くらいのときのあなたの家計をイメージしたとき、一月あたりでみてどのような収支になると見込まれますか。

	ご主人が 63 歳くらいのとき	ご主人が 67 歳くらいのとき	
A 支出総額	[] 万円くらい	[] 万円くらい	
B 収入総額	[] 万円くらい	[] 万円くらい	
(収入内訳)	仕事からの収入	[] 万円くらい	[] 万円くらい
	厚生年金など公的な年金収入	[] 万円くらい	[] 万円くらい
	企業年金や私的な年金の収入	[] 万円くらい	[] 万円くらい
	その他の収入	[] 万円くらい	[] 万円くらい

問 27 ご夫婦の今後の生活設計において不安と感ずることはありますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|------------|------------|--------------|
| 1. ご自身の健康 | 5. 子どもの行く末 | 9. 日常生活の過ごし方 |
| 2. ご主人の健康 | 6. 医療費の負担 | 10. その他 |
| 3. 今後の生活資金 | 7. 住居の確保 | () |
| 4. 老親等の介護 | 8. 仕事のこと | 11. とくにない |

問 28 最後に、分析する際に必要な範囲で、ご家族などについてお伺いします。

①お子さんは？（いらっしゃる欄に人数をご記入ください。）

	就学前	小学生	中学生	高校生	それ以上の学生	社会人
男のお子さん	人	人	人	人	人	人
女のお子さん	人	人	人	人	人	人

②親と同居の有無（〇は一つ）

1. 同居している
2. 同居していない

③お住まいは。

（都道府県名）

④お住まいの地域はどのようなところですか。（感覚でも結構です）（〇は一つ）

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 大都市の中 | 4. 地域の中心都市の郊外 | 7. 上記以外の町村地域 |
| 2. 大都市の郊外 | 5. その他の都市の中 | |
| 3. 地域の中心都市の中 | 6. その他の都市の郊外 | |

⑤現在の住居は。（〇は一つ）

1. 持ち家 2. 社宅など 3. 公営賃貸住宅 4. 民間賃貸住宅 5. その他

⑥ご主人の年収はどれくらいですか。（税込みでのおおよその総額）（〇は一つ）

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 200万円未満 | 9. 900万円以上 1,000万円未満 |
| 2. 200万円以上 300万円未満 | 10. 1,000万円以上 1,100万円未満 |
| 3. 300万円以上 400万円未満 | 11. 1,100万円以上 1,200万円未満 |
| 4. 400万円以上 500万円未満 | 12. 1,200万円以上 1,300万円未満 |
| 5. 500万円以上 600万円未満 | 13. 1,300万円以上 1,400万円未満 |
| 6. 600万円以上 700万円未満 | 14. 1,400万円以上 |
| 7. 700万円以上 800万円未満 | |
| 8. 800万円以上 900万円未満 | |

↳ [] 百万円台

⑦あなたに収入はありますか。（〇は一つ）

1. ある 2. ない

（年収が「ある」とお答えになった方に、お伺いします。）

⑦-2 あなたの年収は、ご主人の年収に比べてどれくらいですか。

割くらい

⑦-3 あなたの収入は家計にとってどのような重要度がありますか（〇は一つ）

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. なければ困る | 3. なくてもほとんど困らない |
| 2. なくとも何とかやっつけていける | 4. なんともいえない |

⑧世帯の貯蓄は？ ご主人の年収の何割くらいでしょう。

割くらい

（例えば年収の1.5倍であれば「15」となります。）

⑨貯蓄のうち、株式や株式投信の占める割合は。

割くらい

⑩ふだんの健康状態をあなたとご主人それぞれ、5段階で評価してください。

	健康	ふつう	不良
--	----	-----	----

あなたは	5	4	3	2	1
ご主人は	5	4	3	2	1

質問はこれで終わりです。ご回答ありがとうございました。